

第3回 「見える化」コンテスト申請用紙

1. タイトル	ダメ、静電気！流速、わかってる？	2. 部門	FC活動推進部
3. 氏名、グループ名	ヒートガンズあきら？% withBB		

4. 写真



5. 内容 (アピールポイント、製作の理由など)

有機溶媒をドラム缶へ移す作業中に静電気災害の発生を抑えるため、ホース内の有機溶媒の流速をバルブを操作し1.0m/s以下で作業するルールとした。

現場で1.0m/s以下の流速を判断する必要があるけれど、かなり遅いと思うが感覚がわかりにくい。そこで、ノズルから流れる液の様子を見ながら流速が分かるようなセットを作成した。

このセットを使って体験、トレーニングしておけば実際の作業で、ノズルから流れる液の様子を目で見て流速を判断して静電気災害の発生を抑えることができる。

■セットの仕組み、特徴

- ・ドラム缶から水中ポンプで水を流量計へ送り出し、つなげたホースの先のバルブを操作してノズル(25A)の流速を1.0m/s以下に調整する。
- ・台車の上にセットを乗せたので、どこでも移動ができる。
- ・ドラム缶内の水を水中ポンプで循環するので、電源があれば工場内の色々な場所、室内でも実施できる。
- ・循環する水を赤く着色し流れを見えやすくした。